

北海道議会議員

Go forward! **北海道** **たけだ 浩光** ひろみつ **道政通信**

所属会派：民主・道民連合

住みやすい『西区』、そして『北海道』をめざします!

発行：たけだ浩光政務事務所 〒063-0811 札幌市西区琴似1条7丁目1-35 ☎011-624-8030 FAX 011-624-8031



2022年第3回定例会 一般会計583億7千万円を可決し閉会

第3回の道議会は9月13日開会し、冒頭、原油をはじめ物価高騰等への緊急経済対策経費として454億3,900万円を先議し、最終日も追加提案として、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金129億3,500万円を可決し、全26議案を可決（議決）し10月7日に閉会した。

<主な支援策>

運送事業者臨時支援事業費・・・16億250万円
 医療従事者応援事業費・・・4億2,128万円 他

<主な追加支援策>

節電プログラム参加促進事業費・・・36億2,200万円
 製造業省エネルギー環境整備緊急対策事業費
 ……36億2,200万円
 飲食店利用促進支援事業費 ……3億1,097万円 他

知事1期目の道政運営を検証!

「知事の本線はどこに」、「誰に気を遣ってるの」、「何を恐れているの」、私たちは理解できません。知事の言う「活力あふれる北海道」「躍動する北海道」の行先に、大きな不安を感じます。就任当初の知事と最近の知事との議会答弁の変化など、強いリーダーシップが感じられなくなっています。民主・道民連合議員会は、この度、道政検証プロジェクトチームを立ち上げ、この間の知事の道政運営を検証してみました。私のホームページにも掲載しますので是非ご一読ください。

“ナイス・チャレンジ”
インターン生!
五十嵐さん・三河さん★



お2人とも
お疲れさまでした~

北海学園大学
 経営学部 経営情報学科

いがらし まゆ
五十嵐 真悠

みかわ しゅんすけ
三河 駿介

小樽商科大学
 商学部商学科

こんにちは！前回に引き続き五十嵐真悠です！早いものでインターンが終了してしまいました。インターンをして良かった点は沢山ありますが今回は私が成長した点についてお伝えできればと思います。それは「人の目を見てゆっくり話すこと」です。基本的なことのようには思いますが、以前の私は人と目を合わせず早口で、何度も聞き返されたこともありましたが、しかし、インターン中は名刺交換など年上の方とお話しする機会が多く自然に「誰にでも伝わる話し方を」と意識するようになり、最近ではアルバイト先でも聞き返されるのが少なくなりました。あのとき「えいやっ」と飛び込んで良かったです。武田道議・事務所の皆さん2カ月間ありがとうございました！

武田道議へ一言...忙しいなか私たちのために色々な所に連れて行ってくださったり、相談に乗ってくださったり本当に嬉しかったです。また機会があればよろしくお願ひします！2カ月間本当にありがとうございました！

「インターンシップを終えて」

まずは約一か月間という短い時間ではありましたが、本当にお世話になりました。未来国会というブレゼン大会に向けて様々な政治的なアドバイスを下さったり、発表の際に使用する見やすいパワーポイントの作り方など教えていただいて、その大会だけでなくこれから大学生活をしていく上でも身につけていて良いことを多く学ぶことができたので本当に武田道議のもとでインターンをすることができてよかったなと感じています。また、このインターンを通してそして武田道議のおかげで多くの方々と出会い、お話しする機会をいただきました。どなたも素敵な方でたくさん激励の言葉をかけてくださって大変嬉しかったです。ありがとうございました。最後に、私のような未熟者の面倒を見てくださった武田道議、杉本さん、事務所の方々本当にありがとうございました。何かまた機会がありましたらその時はどうぞよろしくお願い致します。

シリーズ企画第3弾 ③

放射線 ③ 私たちは どれだけ 知 ってる？



Mr. and Mrs. Curie

シリーズ企画①ではレントゲン博士、②では発明王エジソンを取り上げました。③では誰もが知っている偉人のキュリー夫人を取り上げたいと思います。キュリー夫人も「放射線」を語る上では欠かせない人物です。

キュリー夫人は、ロシア占領下のポーランドで生まれたポーランド人ですが、科学者としての功績のほとんどはフランスでの研究です。その研究の中でも有名なのは放射性物質、新元素の発見です。1898年7月にポロニウム、12月にはラジウムを発見し発表しています。新元素ポロニウムは、キュリー夫人の祖国ポーランドにちなんで命名されました。こうした研究業績により、キュリー夫人はノーベル賞を2度受賞しています。1903年に物理学賞、1911年に化学賞をとっています。これは、女性初のノーベル賞であり、初の2度目のノーベル賞受賞者であり、初の異なる分野での受賞者という偉業です。

このように、偉大な業績を残したキュリー夫人ですが、彼女が生きた時代はまだまだ全てにおいて男性社会であり、彼女の研究活動には数々の

「ジェンダーの壁」がありました。彼女はまた、そうしたジェンダーの壁に負けない天才物理学者であり、努力の人でした。

キュリー夫人 放射線で医学に貢献？

さて、彼女がノーベル賞を受賞し活躍した時代のヨーロッパは、激動の時代であり1914年には第一次世界大戦が勃発しています。この戦争で多くの負傷者が出ていたのです。

ドイツでは、1895年に発見されたX線はすでに、X線撮影による医療への貢献が可能となっており、多くのドイツ兵の命を救っていました。一方、フランスにはそれを実施する設備が非常に少ない現状でした。キュリー夫人は、手術において、銃弾や破片などの人体に食い込んだ異物を事前に確認できれば、負傷者の生存率は上がると考えました。彼女は、大学・製造業者を回り、必要な機械を調達し、複数の病院に設置しました。

さらに、自動車に設備と発電機を搭載し、1914年8月頃から病院を回り始めました。これは、軍の中で「プチ・キュリー」と呼ばれました。装置は増えていき、オペレーターもキュリー母娘や周囲の人だけでは足りず、軍医部に要請し、エディット・カヴェル病院の看護学校の中にX線衛生班養成所を開きました。つまり、X線技師学校です。母と離れ、前線の病院回りをしていた娘、イレーヌも呼び戻され、この学校で教え、終戦までに150人もものプロのX線技士を教育しました。最終的には、20台のプチ・キュリーと、200の病院に放射線装置が設置されました。終戦までに、100万人もの負傷兵がキュリー夫人のアイデアと活動の恩恵に浴したと言われています。



プチ・キュリー

たけだ浩光プロフィール

- 【すまい】 西区西野 (在50年)
- 1960年 江別市生まれ
その後、すぐ札幌へ
- 1979年 北海道立札幌西高等学校 卒業
- 1980年 北海道大学水産学部 中退
- 1985年 北海道大学医学部附属
診療放射線技師学校 卒業
- 1985年 札幌医科大学附属病院勤務
- 2019年 北海道議会議員 初当選

キュリー夫人のこうした活躍がなければ、今の私もいなかったかもしれません。(笑)

次号に続く...



たけだ浩光オフィシャルWebサイト

たけだ浩光

検索

オフィシャルWebサイトで道政通信のバックナンバーがご覧になれます

